

歴史の証人



主催：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
後援：文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、橿原市教育委員会、明日香村教育委員会、朝日新聞社

木簡を究める



2013年
9月22日[日]

有楽町朝日ホール

(東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F)

午前10時～午後4時

入場無料(要参加申込み) 定員600名

※講演資料集は有償(1部500円)で販売します。

10:00～10:05

開会挨拶

松村 恵司 (所 長)

10:05～10:35

木簡を掘る 資料としての木簡、木簡の出土と整理
渡辺 晃宏 (都城発掘調査部 史料研究室長)

10:35～11:05

木簡を探る 木簡が明らかにした歴史の諸相
山本 祥隆 (都城発掘調査部 史料研究室研究員)

11:05～11:35

木簡を読む 木簡の情報を読み取り記録する
桑田 訓也 (都城発掘調査部 史料研究室研究員)

11:35～12:05

木簡を広げる 古代以外の、さまざまな地域の木簡
山本 崇 (都城発掘調査部 主任研究員)

昼休み

13:05～13:35

木簡と文字 データベース、木簡の文字
井上 幸 (都城発掘調査部 史料研究室特別研究員)

13:35～14:05

木簡を伝える 木簡の科学的な分析、保存処理と伝来環境
高妻 洋成 (埋蔵文化財センター 保存修復科学研究室長)

休憩

14:30～15:55

木簡研究の過去・現在・未来 質疑応答・自由討論など

◎司会・進行

戸丸 彰子(アナウンサー)、馬場 基(都城発掘調査部 主任研究員)

◎参加者

佐藤 信(東京大学大学院人文社会系研究科 教授)、
末代 誠仁(桜美林大学総合科学系 専任講師)、渡辺 晃宏、
山本 祥隆、桑田 訓也、山本 崇、井上 幸、高妻 洋成

15:55～16:00

閉 会

※講演者等に変更することがありますのでご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ先

シンポジウム事務局(株式会社クバプロ内)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

TEL: 03-3238-1689 FAX: 03-3238-1837

E-mail: nabunken0922@kuba.jp

<http://www.kuba.co.jp/nabunken0922/>



渡辺 晃宏



山本 祥隆



桑田 訓也



山本 崇



井上 幸



高妻 洋成



佐藤 信



末代 誠仁



馬場 基

わたしたちは奈良文化財研究所を応援しています

株式会社タダノ・飛鳥建設株式会社

発掘調査によって地中からみつかる墨書のある木片を広く木簡と呼びます。1961年に平城宮跡で最初の木簡が発見されてから半世紀、木簡は全国で38万点を超える点数を数えるようになりました。ことに史料の絶対数の少ない日本古代史にとって、今や木簡はなくてはならない歴史資料となっています。

私たち奈良文化財研究所では、平城宮・京跡や、藤原宮・京跡、あるいは石神遺跡や飛鳥池遺跡など飛鳥地域の調査において、25万点近い木簡を発掘し、整理・解読し、そして現に保管しています。しかし、木簡はたいへん脆弱な遺物であるため公開の機会は限られており、木簡がどのような資料か知っていただく機会はあまり多くはありませんでした。

そこで、私たちが半世紀の間に培ってきた木簡の整理・研究現場の実際をご紹介します。資料としての木簡そのものについて、多角的に理解を深めていただく機会を設けようと、この講演会を企画しました。題して『「歴史の証人」木簡を究める』。ふだん触れる機会の少ない木簡の素顔に親しんでいただければと思います。

木簡から何がわかったかだけでなく、木簡をどのようにして見つけ、その情報をどのように引き出し、それをどのように公表するのか、そしてそれをどのように未来に伝えようとしているか、私たちの木簡研究の全貌をご紹介します。日本の木簡研究の最前線の様子をご覧になり、一緒に「歴史の証人」木簡を究め、木簡研究の未来を描いていただければ幸いです。



《お申し込み方法》

ホームページ上のお申し込みフォーム、または下記項目にご記入のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

▶▶ <http://www.kuba.co.jp/nabunken0922/>

※参加申し込みにてご提供いただきました個人情報、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

「歴史の証人」木簡を究める FAX申込書 [03-3238-1837]

ふりがな

氏 名

連絡先(☐ 自宅 ・ ☐ 勤務先) ※連絡先が勤務先の場合、必ず会社名まで明記ください。

〒

電話番号

FAX番号

E-mailアドレス

@

次回以降のシンポジウム案内を

希望する

・

希望しない